

大宅壮一文庫に見る コロナパンデミック

大宅壮一文庫 編 山田健太 監修

目 次

凡 例	(4)
解説 多面的な社会の各側面を照射する雑誌記事.....	(7)
雑誌の図書館 大宅壮一文庫について	(9)
大宅壮一文庫に見るコロナ・パンデミック.....	1
索 引.....	617
発言者索引	619
人物索引	719
事項名索引	737

凡 例

1. 本書の内容

本書は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に関する日本国内の週刊誌・月刊誌の雑誌記事の目録である。発行年月日順に構成した本文のほか、執筆・インタビュー・対談・座談会などで発信した発言者、記事でとりあげられた人物、記事が取り扱った事項名から検索できる各索引とで構成する。

2. 収録の対象

- (1) 公益財団法人大宅社一文庫が所蔵・公開している雑誌の記事索引の中で、2024年4月19日までに索引化され、記事分類が「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）」の記事7,420件を収録した。
- (2) 対象期間は、中国湖北省の武漢で新型肺炎患者の発生が伝えられた2020年1月から、同年4月の緊急事態宣言発令、2021年からのワクチン接種、2023年5月の感染症法5類への移行を経て、2024年3月のワクチン無料接種終了の頃までの、おおむね4年3か月間に相当する。

3. 資料の排列

- (1) 雑誌の発行年月日の古い順に排列し、年の区切りに大見出し、年月の区切りに中見出しを立てて示した。
- (2) 発行年月日同じ雑誌は、誌名の五十音順に排列し、区切りに誌名・発行日を小見出しで示した。アルファベット表記の誌名は、AERA（アエラ）、Number（ナンバー）など各誌名のヨミをカタカナとして排列に用いた。
- (3) 同じ雑誌・号の中の各記事は、掲載ページ順とした。

4. 記載事項

記述の内容と順序は次の通りである。

年見出し／年月見出し

誌名見出し／発行日

文献番号／記事タイトル／〈記事の種類〉／※補足説明／[発言者]／掲載ページ

5. 索引

1) 発言者索引

記事の執筆、インタビューや対談・座談の発言などによる発信者の氏名を見出しとした。本文中での記事の所在は、年月見出しと記事番号で示した。

2) 人物索引

記事のテーマとなる人物の氏名を見出しとした。本文中での記事の所在は、年月見出しと記事番号で示した。

3) 事項名索引

記事のテーマ分類、ニュースのキーワードなどを見出しとした。本文中での記事の所在は、年月見出しと記事番号で示した。

4) 排 列

- (1) 各索引とも見出しの五十音順に排列した。
- (2) 人名は姓の五十音順に排列し、同姓の場合は名の五十音順とした。
- (3) 中黒（・）、長音（音引き）は無視した。
- (4) ヴァ、ヴィ、ヴ、ヴェ、ヴォの読みは、バビブベボとして扱った。
- (5) ジとヂ、ズとヅは、区別した。
- (6) アルファベット表記の見出しは、Go To トラベル（ゴートゥートラベル）、SARS（サーズ）など固有の読み方をする場合はその読みに従い、それ以外は、IOC（アイオーシー）のようにアルファベット1字ずつの読みに従った。

6. 雑誌名一覧

本書に収録した雑誌（155誌）の誌名は以下の通りである（誌名五十音順）。

AERA、 AERA English、 AERAウィズ・キッズ、 AERAウィズ・ベビー、 AERA臨増、 アルバトロス・ビュー、 an・an、 EX大衆、 家の光、 一個人、 with、 WiLL（ワック）、 潮（潮出版社）、 エッセ、 NHKきょうの健康、 ENTAME、 オール読物、 オレンジページ、 音楽の友、 科学、 CASA BRUTUS、 家庭画報、 紙の爆弾、 からだにいいこと、 環境会議、 関西ウォーカー、 キネマ旬報、 GALAC、 近代柔道、 暮らしの手帖、 CREA、 クロワッサン、 群像、 経済界、 激流、 月刊TIMES、 月刊テーマス、 月刊バスケットボール、 月刊Hanada、 月刊バレーボール、 月刊陸上競技、 財界、 サイゾー、 ZAITEN、 サッカーダイジェスト、 サッカーマガジン、 THE21、 サライ、 サンデー毎日、 散歩の達人、 GQ Japan、 実話ナックルズ、 実話ナックルズ臨増、 週刊朝日、 アサヒ芸能、 週刊朝日臨増、 週刊エコノミスト、 週刊金曜日、 週刊現代、 週刊ゴルフダイジェスト、 週刊実話、 週刊実話臨増、 週刊女性、 週刊新潮、 週刊大衆、 週刊ダイヤモンド、 週刊東洋経済、 週刊プレイボーイ、 週刊文春、 週刊文春WOMAN、 週刊ベースボール、 週刊ポスト、 小説現代、 小説すばる、 小説トリッパー、 小説宝石、 女性自身、 女性セブン、 新潮、 スイミング・マガジン、 スカイワード、 STORY、 SPA!、 すばる、 スポーツゴジラ、 相撲、 清流、 正論、 世界、 選択、 壮快、 ソトコト、 ソフトボール・マガジン、 DIME、 ターザン、 卓球王国、 dancyu、 致知、 中央公論、 調査情報、 創、 テニスマガジン、 TVガイド、 テレビプロス、 東京ウォーカー、 東京人、 ナショナル・ジオグラフィック、 Number、 日経ウーマン、 日経エンタテインメント、 日経サイエンス、 日経トップリーダー、 日経トレンディ、 日経ビジネス、 日経ヘルス、 日経メディカル、 ニュースウィーク日本版、 Newton、 人間会議、 熱風、 ノジュール、 ハルメク、 pumpkin、 PHPスペシャル、 ピクトアップ、 美ST、 FACTA、 フィガロジャポン、 フォーブス ジャパン、 婦人画報、 婦人公論、 FRIDAY、 FLASH、 プレジデント、 プレジデントファミリー、 文学界、 文藝、 文藝春秋、 Pen、 Voice、 本の窓、 ミセス、 ミュージック・マガジン、 ムー、 優駿、 ゆうゆう、 ゆほびか、 ユリイカ、 ラグビーマガジン、 リベラル・タイム、 料理王国、 レジャー産業資料、 レタスクラブ、 レタスクラブ臨増、 わかさ

解説 多面的な社会の各側面を照射する雑誌記事

街から人影が消え、自粛の嵐が吹き荒れ、五輪が延期・無観客となり、マスクが常態化し、学校も職場もオンラインとなり、国民総ワクチン接種を実施し、そうしたなかで長く続いた安倍政権が終わり、その後の短命内閣を経て、岸田政権下で銃撃事件が起きた。そうしたなかで、じわじわとインフレは進み、経済格差や子どもの貧困がますます深刻化し、政治的には原発再稼働や戦争ができる国づくりが進んだのが、この4年間だ。

雑誌記事見出しを追って改めて振り返るならば、間違いなく時代の大きな転換点ではあった。それは単にコロナが流行ったというだけではなく、その前後で人の生活・行動・思想の様式を変えたと思われるからだ。そうした変化を浮き彫りにするのが雑誌記事の集積であり、日本で唯一の雑誌アーカイブズである大宅文庫の力だ。

しかも掲載媒体は、一般週刊誌に始まり男性・女性誌や芸能誌、政治・経済ニュース誌から論壇誌まで、まさに大宅の特徴である、多種多様な雑誌群により多面的な社会の各側面を照射するものになっている。全部で7420項目、614ページは、今後、このコロナ時代を振り返る際の基礎資料の「入り口」として有意義なだけでなく、文芸作品や映像ドキュメンタリーなどを制作する際の、貴重な素材を提供することになるだろう。

新型コロナウイルス感染症の蔓延にともない、政府は特措法に基づく緊急事態宣言を2020年4月以降3度にわたり発出した。11年3月には福島第1原子力発電所の事故によるメルトダウンを受け、原子力特措法に基づく緊急事態宣言が出されており、日本はこの10年間で、2つの緊急事態宣言を同時に体験したことになる。しかも、原発の緊急事態は今も続いていて解除される見込みは立っていない。

本書はタイトルにある通り「コロナ・パンデミック」をカバーするものだが、放射能汚染を巻き起こした原発事故については『3.11の記録』全4冊がある（原発事故以外に、震災・津波被害を対象にしている）。当時の新聞・雑誌・放送の記録を採取したものであって、まさに本書と対をなすものといえ、パンデミックと原発事故という2つを伝える記事見出しをみると、こうした緊急事態に弱い日本社会（人）が見えてくる気がする。

なぜなら、こうした「緊急事態」を名目として、日常生活の中で自由や権利といった市民的自由の制限が進み、かつそうした制約に慣れてしまった社会があるからだ。この状況は、いまなお取材や報道の現場にとどまらず、社会全体を覆う大きく重たい空気となって留まり続けている。そうした空気感を可視化するのが大宅文庫の貴重な資料群であって、本書は研究・分析のためのとっかかりを与えてくれているという意味で、研究者にとっても貴重なものだ。

山田 健太（専修大学ジャーナリズム学科教授＝言論法）

雑誌の図書館 大宅壮一文庫について

評論家・ジャーナリストの大宅壮一は、書物に貴賤の別なく奇本雑本の類まで古書店を中心に収集した。このコレクションは大宅壮一が亡くなった時20万冊になっていたが、そのうち実に17万冊が雑誌だった。

また大宅壮一は日頃から「本は読むものではなく引くものだ」「一冊の本は百科事典の一つの項目とみる」と言っており、これを自ら実践した個人資料室「雑草文庫」をつくり、専用の書庫を建てスタッフを雇い、資料の整理分類に当たらせ雑誌記事の索引づくりに注力した。

この資料を引き継ぎ、1971年から半世紀以上活動を続けている大宅壮一文庫の、図書館としての特徴は3つある。

- ・雑誌を専門に取り扱っていること、特に公立図書館が積極的に収集してこなかった大衆誌がそのほとんどであること。
- ・雑誌のタイトルや書誌情報からではたどり着けない、「記事」を採録し索引を作成していること。
- ・その索引を独自の索引項目「大宅式分類法」で整理分類し、記事を検索して探し出すことができること。

これらの機能により単なる「雑誌専門の図書館」ではなく、雑誌に掲載された記事情報を自在に読み出し利用者の使用に役立てることができる図書館となっている。

記事索引を採録している雑誌はすべて保存しているので、常時閲覧・複写することができる。また目当ての記事が掲載された雑誌の前後の記事や表紙やグラビア、広告を確認することで、当時の流行や時代の雰囲気や副次的な情報として知ることができる。国内初めての雑誌『西洋雑誌』が刊行されてから160年近くの世相の情報である。

今回本書の刊行によりこの記事索引に注目が集まり、他の様々な利用に役立つことを願うばかりである。また、索引語や人物項目など独自に検索してみたい方は、雑誌記事索引データベース「Web OYA-bunko」を是非ご活用いただきたい。

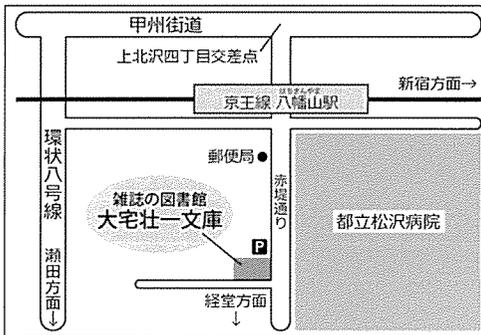
公益財団法人 大宅壮一文庫 事務局 鴨志田 浩

大宅壮一文庫案内

所在地 〒156-0056 東京都世田谷区八幡山3丁目10番20号

京王線八幡山（はちまんやま）駅 下車、徒歩8分

<https://www.oya-bunko.or.jp/>



Web OYA-bunko

(大宅壮一文庫の雑誌記事索引データベース)

https://www.oya-bunko.or.jp/web_oyabunko/tabid/73/Default.aspx

2020年(令和2年)

2020.1

ニュースウィーク日本版 1月21日号

0001 アジアに迫るパンデミックの脅威 中国 SARSの記憶がよみがえる新型肺炎の流行 見えない正体と少な過ぎる情報が地域を翻弄する ※武漢を中心に感染拡大 [ローリー・ギャレット] p30~33

AERA 1月27日号

0002 医療 新型コロナウイルスによる肺炎が日本上陸 医療者に感染なら強力 ※ヒトから感染の可能性 p24

週刊大衆 1月27日号

0003 特盛ニュースワイド 全力真相 中国発「謎の大流行」もニッポン流入? 「死ぬ肺炎」スーパー危険兆候 死因激増の驚くべき理由 p68~69

SPA! 1月28日号

0004 今週の顔 中国・武漢市発「新型コロナウイルス」の本当の怖さ 日本でも「初」の感染者が。「春節」大型連休で感染リスク増大 水際作戦ではなく、封じ込め対策が問題 p4~5

ニュースウィーク日本版 1月28日号

0005 Superpower Satire 風刺画で読み解く「超大国」の現実 中国の調査報道記者はどこへ ※武漢で発生した新型肺炎をめぐる報道 [ラージャ

オ/トウガラシ] p17

0006 中国の肺炎対策は(今のところ)合格点 謎の新型肺炎発生から約1カ月で原因ウイルスを特定し、その遺伝子情報を世界と共有した意義は大きい ※新型コロナウイルス [ダニエル・ルーシー/アニー・スパロウ] p30~32

週刊文春 1月30日号

0007 池上彰のそこからですか!? 417回 中国で再び新型肺炎 ※武漢で発生した新型コロナウイルス、SARSの時の中国当局の隠蔽、他 [池上彰] p40~41

0008 「麒麟がきた」新型肺炎中国当局発表はやっぱりウソばかり p130

女性セブン 1月30日号

0009 スクープワイド 9の秘密 どう防ぐ? 「春節」に30億人大移動 中国人観光客が運ぶ殺人ウイルス ※武漢市で59人が原因不明の肺炎を発症、複数の患者から新型コロナウイルスが検出された p36

2020.2

選択 2月号

0010 世界のキーパーソン 知られざる横顔 117回 周普峰 生物多様性保護 NGO代表 新型肺炎の源「動物売買」

2023年(令和5年)

2023.1

家の光 1月号

7085 コロナ時代の冠婚葬祭 ※読者に聞く本音、シーン別コロナ禍の冠婚葬祭マナー、葬祭を研究する高橋繁行さんへのインタビュー、ルポ「JA葬祭はいま」[高橋繁行/他] p14~29

潮(潮出版社) 1月号

7086 ushio情報box 知って得する熟年世代の生活の知恵 感染症と向き合う冬 ※新型コロナウイルス感染症、マスクをする・しないは場面によって、インフルエンザの予防法、他 [和田隆昌] p218~220

NHKきょうの健康 1月号

7087 ニュース インフルエンザと新型コロナウイルス、同時流行に備える ※日本社会全体の集団免疫が低下、2つのワクチンの同時接種、同時流行時に発熱などが生じた場合の対応、自宅療養時の注意点、他 [石田直] p54~57

紙の爆弾 1月号

7088 これ以上、新型コロナワクチンを打ってはいけない! 大きすぎる「3つのリスク」 ※人類に初めて試す遺伝子ワクチン、接種に3つのリスク、感染予防の実証テストをしていない

ファイザー、他 [サルサ岩淵] p36~41

経済界 1月号

7089 文系ドクターの医療ニュース深読み 20回「ワクチン頼り」から「ワクチン離れ」へ ※ワクチン離れが始まっているドイツ、日本人はインフルエンザワクチンがお好き? [村中瑠子] p102~103

激流 1月号

7090 2022年10月の小売動向 人流回復で潤った矢先の物価高と「第8波」の難局 ※居酒屋の客足がコロナ前の水準まで回復 コロナ感染者数が2カ月ぶりに10万人越える p106~107

月刊TIMES 1月号

7091 「特別定額」と「持続化」給付金の闇 コロナ対策給付金に募る疑問 申請の業務代行になぜ民間の会社が介在するのか [鮎川賢一郎] p38~39

月刊テーマス 1月号

7092 同時感染「フルロナ」増大も コロナ第8波&インフルエンザに勝つオミクロン株は弱体化しているというがウイルスは日々変異し強力化へ p32~33

選択 1月号

7093 本に遇う 277回 ワクチン接種後

雑記 ※武田泰淳『司馬遷 史記の世界』パオロ・ジョルダノ『コロナの時代の僕ら』[河谷史夫] p94~95

日経ヘルス 1月号

7094 Trend Pick Up Medical 漢方で感染症対策 新型コロナにもインフルエンザにも有効 常備するなら3つの漢方薬 ※「麻黄湯」「越婢加朮湯」「補中益気湯」 p82~83

ハルメク 1月号

7095 健康特集 新型コロナ、インフルエンザ、ノロウイルス…冬の感染症から身を守る今知っておきたい! 新常識 ※同時流行と3大感染症の特徴、医療機関のかかり方、毎日の基本対策、間違えがちな感染症対策、他 [矢野邦夫] p75~81

FACTA 1月号

7096 「効かないゾコーバ」礼賛虚報! 真に有効な薬剤を開発すれば、政府にすぎらずとも世界中で売れるはず。ゾコーバの問題は、世界から見向きもされないことだ ※塩野義製薬開発のコロナ治療薬 [上昌広] p24~26

Voice 1月号

7097 2023年の世界 鈴木康裕(国際医療福祉大学学長・教授、元厚労省中央コロナ対策司令官)×国井修(公益社団法人グローバルヘルス技術振興基金CEO) グローバルヘルスで世界をつなぐ日本(対談) [鈴木康裕/国井修] p98~105

ゆほびか 1月号

7098 コロナ後遺症を大改善! 倦怠

感、落ち込み、思考力の低下、息苦しさ…8人に1人が苦しむ! 延々と続く謎の不調はこれかも! ※呼吸リハビリのやり方、鼻うがいのやり方、他 [平畑光一/浜田貫太郎] p89~100

女性セブン 1月1日号

7099 渡辺徹さん 急逝招いた恐ろしすぎる「不治のコロナ後遺症」'22年2月に感染を公表。周囲に「後遺症」を明かしていた ※体内にウイルスが生体残り続ける可能性、妻・榊原郁恵の献身 [中村幸嗣/望月優一郎/他] p42~44

週刊大衆 1月2日号

7100 コロナ後遺症と「おさらば!」全国「名医がいる病院」最新50 感染後の症状に苦しむも受診できない人が大量発生! 現役ドクター警告「肥満・喫煙・歯周病」で重症化リスク!… p208~211

ニューズウィーク日本版 1月3日号

7101 Periscope 2023年、コロナはいつに収束する? ※緊急事態の終了に期待をにじませるWHOのテドロス事務局長、コロナウイルスの発生源の解明にも意欲 [ロビン・ミラード] p13

サンデー毎日 1月8日号

7102 年末ワイド 大予測8連弾 2023年はこうなる! 感染症 特措法からコロナが外れる日 [木村盛世] p18~19

週刊プレイボーイ 1月9日号

7103 感染症のスペシャリスト・岩田健太郎先生に聞く、「インフル並み」になりつつあるコロナとどうつき合えば?」年末年始を乗り切るための

発言者索引

【あ】

- 相沢, 幸悦
2020.3 0297, 2021.1 4024
- 相沢, 孝夫
2020.11 3534, 2021.2 4257,
2022.2 6391
- 相田, 和弘
2020.7 2555
- あいみ
2021.10 5924
- 青木, 晃
2020.8 2729
- 青木, 大樹
2020.4 0971
- 青木, 剛
2020.7 2324
- 青木, 正美
2021.8 5559
- 青木, 理
2020.5 1461
- 青木, 泰
2020.9 3012, 2020.10 3262,
2020.12 3636, 2021.2 4108,
2021.3 4354, 2021.6 4971,
2021.10 5812, 2021.11 5959
- 青野, 慶久
2020.8 2727
- 青柳, 聡
2020.9 3006
- 青柳, 雄介
2020.4 0653, 0745, 0842, 0980,
- 2021.9 5787, 2021.10 5870,
2022.2 6408
- 青山, 繁晴
2020.7 2348
- 青山, 智樹
2020.9 3041
- 青山, 雅幸
2021.8 5406, 2023.2 7156
- 赤荻, 瞳
2021.10 5924
- 赤阪, 清隆
2020.4 0579
- 赤坂, 祐二
2020.5 1402
- 明石, 順平
2020.5 1360
- 赤谷, まりえ
2020.9 3171
- 阿川, 佐和子
2020.3 0215, 2020.8 2914
- 秋田, 一恵
2020.6 1936
- 秋田, 史帆
2020.12 3665
- 秋津, 壽男
2020.2 0050, 2020.3 0369
- あきの, 公造.
2021.9 5629
- 秋野, 公造
2020.10 3252, 2021.4 4552,
2022.2 6322
- 秋野, 充成
2020.12 3721, 2021.5 4834
- 秋山, 響
2020.6 1906
- 秋山, 進
2020.5 1671

人物索引

【あ】

- 青山, 繁晴 (戦略アナリスト, 政治家)
 2020.7 2348
- 秋野, 公造 (政治家, 医者, 長崎大学)
 2021.4 4552, 2021.9 5629,
 2022.2 6322
- 朝岡, 龍博 (医師)
 2022.8 6831
- 朝香, 豊 (ライター)
 2021.10 5803
- 東, 浩紀 (評論家)
 2020.5 1569, 2020.11 3574,
 2021.3 4405, 2021.10 5897
- 麻生, 太郎 (政治家)
 2020.7 2261, 2020.12 3686
- 安宅, 和人 (ヤフー)
 2020.7 2419, 2021.4 4610
- アタリ, ジャック (経済学)
 2021.1 3897
- アトキンソン, デービッド (小西美術工
 芸, アナリスト)
 2020.5 1143, 2020.7 2426,
 2021.3 4367, 2021.4 4569
- 安倍, 晋三 (政治家)
 2020.6 1803, 2020.7 2404,
 2022.11 6996
- アmano, マッド (パロディスト, イラス
 トレーター)
 2023.4 7237
- 雨宮, 処凛 (作家, 大日本テロル)
 2020.6 1844, 2020.7 2368,
 2020.8 2748, 2020.10 3308,
 2020.11 3503, 2021.1 3877,
 2021.2 4139, 2021.6 5003,
 2021.12 6090, 2022.2 6341,
 2022.8 6806, 2022.11 7016,
 2022.12 7054
- 甘利, 明 (政治家)
 2020.3 0431
- 荒井, 広幸 (政治家)
 2020.6 1803
- 安藤, 裕 (政治家)
 2022.5 6667
- イ, ラン (シンガーソングライター, 作
 家)
 2020.5 1230
- 飯田, 泰之 (経済学, 明治大学)
 2021.5 4927, 2022.8 6810
- 井川, 直子 (文筆業)
 2021.6 5014, 2021.7 5300, 5329,
 5393, 2021.8 5456, 2021.9
 5631, 5679
- 池江, 璃花子 (水泳)
 2021.4 4730
- 池尾, 和人 (経済学, 慶応義塾大学)
 2020.5 1403
- 池上, 彰 (ジャーナリスト)
 2020.5 1652, 2020.7 2498, 2642,
 2021.3 4392, 4424
- 石井, 啓一 (政治家)
 2021.7 5185
- 石川, 善樹 (予防医学)
 2020.11 3538
- 石戸, 論 (ノンフィクションライター)
 2023.6 7300
- 石破, 茂 (政治家)
 2021.6 5028
- 石橋, 文登 (産経新聞)
 2020.6 1774

事項名索引

【あ】

愛煙家

2020.4 0795

IOC(国際オリンピック委員会)

2020.5 1124

アイスランド

2020.12 3762

愛知県

2020.5 1309, 2020.6 1988

「愛は地球を救う」

2021.8 5549

アイリスオーヤマ

2020.8 2779

秋入学制

2020.5 1323

握手会

2020.4 0587, 2020.5 1545

アクテムラ

2020.6 1919, 2032, 2020.7 2300,
2391, 2021.3 4349, 2021.8 5418

アクリル板

2021.11 6033, 2022.2 6385

浅草

2020.5 1299, 2020.6 2160,
2020.8 2974, 2020.10 3404,
2021.2 4207, 2022.6 6763

アジア

2020.1 0001, 2020.2 0026,
2020.4 0895, 2020.5 1252, 1575,
2020.6 1826, 2020.8 2680, 2792,
2020.9 3051, 2020.10 3434,2020.11 3464, 3479, 3528,
2020.12 3719, 2021.1 3896,
2021.3 4470, 2021.6 5047,
2021.10 5823, 2022.1 6298

アジア開発銀行

2020.3 0326

アストラゼネカ

2020.6 2020, 2020.8 2688,
2020.10 3353, 2020.12 3725,
3767, 2021.1 4077, 2021.3
4359, 4469, 2021.6 5023, 5160,
2021.7 5226, 2021.8 5538, 5582,
2021.9 5617, 5671, 2021.12
6152, 2022.1 6248, 2022.11
7003, 2023.8 7328

新しい生活様式

2020.5 1604, 1643, 2020.6 1960,
1992, 1993, 1997, 2006, 2010,
2023, 2035, 2073~2075, 2124,
2182~2184, 2186, 2020.7 2468~
2471, 2499, 2546, 2020.8 2653,
2799, 2809, 2020.11 3467,
2020.12 3831, 2022.7 6789

アデノウイルス

2020.9 3183, 2021.2 4339

アナフィラキシー

2021.2 4242, 2021.3 4437, 4482,
4493, 2021.4 4556, 4600, 4626,
4632, 4661, 2021.5 4932,
2021.7 5226, 2021.8 5486,
2021.9 5706

アパグループ

2020.4 0940, 2020.5 1404

アフリカ

2020.4 0639, 0707, 0895, 2020.5
1194, 2020.7 2573, 2021.3
4470, 2021.6 5144, 2021.12
6120, 2022.3 6481

編者紹介

大宅壮一文庫

1971（昭和46）年創設。日本で初めての雑誌図書館。評論家・大宅壮一の雑誌コレクションを引き継いで、明治時代以降150年余りの雑誌を所蔵している。商業出版された大衆誌を中心に、雑誌掲載された記事から独自に採録した索引で人物名や事件・事項などを探ることができる。

ホームページ <https://www.oya-bunko.or.jp/>

Web OYA-bunko https://www.oya-bunko.or.jp/web_oyabunko/tabid/73/Default.aspx

監修者紹介

山田 健太（やまだ・けんた）

専修大学文学部教授。日本メディア学会、日本出版学会、日本公法学会、国際人権法学会、日本編集者学会に所属。著書は『3.11とメディア』（トランスビュー、2013年）、『法とジャーナリズム 第4版』『ジャーナリズムの倫理』（いずれも勁草書房、2021年）他多数。

大宅壮一文庫に見るコロナ・パンデミック

2024年6月25日 第1刷発行

編集／大宅壮一文庫 ©

監修／山田健太

発行者／山下浩

発行／日外アソシエーツ株式会社

〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 鈴中ビル大森アネックス

電話 (03)3763-5241 (代表) FAX(03)3764-0845

URL <https://www.nichigai.co.jp/>

電算漢字処理／日外アソシエーツ株式会社

印刷・製本／シナノ印刷株式会社

不許複製・禁無断転載

《中性紙北越淡クリームキンマリ使用》

<落丁・乱丁本はお取り替えいたします>

ISBN978-4-8169-3012-6

Printed in Japan, 2024